

鳴川山生物群集保護林 [北山・十津川森林計画区]

管轄森林管理局	近畿中国森林管理局
所在地	奈良県吉野郡天川村
面積	345.87ha
設定年	平成5年

保護林の概要 (設定目的)

大峰山系における代表的なウラジロモミ、コメツガ天然林であり、ウラジロモミやコメツガ、ヒノキ等の針葉樹とブナ、ミズナラ等落葉広葉樹が混生する林分となっている。保護林内の高標高地ではウラジロモミやコメツガが生育し、下層はコハウチワカエデ、リョウブ、アオハダが主体の林相となっており、地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理することを目的として設定。



保護林の外観



シカ食害により衰退した下層植生

モニタリング調査の概要

実施年度	令和元年度
調査項目	樹木及び下層植生の生育状況、野生動物の生息状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、8つの調査プロットにおいて生育する樹木の樹種判別、胸高直径の計測等、下層植生の種組成や植被率の観測等を実施。併せて、各プロットへのアプローチルートを中心に植生の生育状況、森林被害の有無等を踏査により観察。野生動物調査として、各プロットに自動撮影カメラを2か月間程度設置し、生育する哺乳類を確認。

結果概要

[天然林等の構成状況]

- ・保護林及び周辺の森林タイプの構成に変化はない。
- ・林木の大規模な衰退、病虫獣害など、ウラジロモミ・コメツガ群落の維持が危惧される兆候はみられない。

[野生生物の生育・生息状況]

- ・斜面中～下部で下層植生の衰退が広くみられる。
- ・自動撮影では、8種の哺乳類を確認した。すべてのプロットにニホンジカがメスも含め高頻度で出現している。

[学術研究での利用状況]

- ・過去5年間は学術研究等での利用はない。

[巡視等の実施状況]

- ・年1回程度の巡視を実施している。

[機能評価]

- ・地域固有の生物群集を有する森林が維持されているが、ニホンジカによる下層植生の衰退がみられることから、対策を検討する必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

鳴川山生物群集保護林 [北山・十津川森林計画区]



保護林内での 注意事項

- ★国有林内の動植物の捕獲・採取はできません。
- ★国有林内では火気厳禁です。禁煙にご協力ください。
- ★自然環境の保護と安全な利用のために、歩道等を外れないようにお願いします。